

金沢市国際交流 戦略プラン



平成27年(2015年)3月

金 沢 市

国際交流戦略プランの策定にあたって

本市では、北陸新幹線の開業を機に、魅力と活力あふれるまちづくりを進めていくため、平成25年3月に新たな都市像として「世界の『交流拠点都市金沢』をめざして」を策定し、翌26年2月には、これを踏まえ今後10年間に取り組むべき施策を重点戦略計画としてとりまとめました。

国の内外から人・モノ・情報の集積、交流を図ることにより、新たな価値を創造しながら、持続的発展を続ける「交流拠点都市金沢」を実現するためには、国際交流をこれまで以上に活性化することが欠かせないことから、そのための総合的な戦略として、このたび国際交流戦略プランを策定しました。

プランの実施にあたっては、国や他の自治体との連携を図るとともに、高等教育機関が数多く集積し、留学生が多いという本市の特長やこれまでの姉妹都市等との交流実績を最大限に生かすとともに、大学や団体、企業、市民等との緊密な連携を図っていきたいと考えております。

本プランの策定にあたり、ご助言をいただきました策定委員会の委員各位をはじめ、多くの皆様方に、心から感謝いたしますとともに、プランの実現に向けて引き続きご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成 27 年（2015 年）3 月

金沢市長 山野 之義

目 次

第1章 プラン策定の趣旨	1
1. 目的.....	1
2. 実施期間.....	1
3. プランの位置付け	1
4. 課題.....	2
第2章 8年後（プランの最終年次）の理想とする姿	4
1. 理想とする姿.....	4
I 都市名が世界の多くの人々に認知されているまち	
II 伝統と創造が調和した世界の人々が憧れるまち	
III 世界の人々と盛んな交流が行われ、日々新たな交流が 生まれるまち	
IV 国際化時代にふさわしい人材にあふれ、外国人が滞在・ 生活しやすいまち	
2. 成果指標.....	5
第3章 プランの基本方針	7
1. 新たな視点	7
2. 基本方針.....	8
I 認知度の向上をめざした都市の発信力の強化	
II 歴史文化資産や新たな創造による資産を生かしたまちの 魅力の向上	
III 固有のストックやネットワークを生かした交流の促進	
IV 国際感覚を持つ人材の育成と外国人居住環境の整備	
第4章 施策の展開	10
1. 認知度の向上のための施策	10
2. まちの魅力向上のための施策	12
3. 交流促進のための施策	15
4. 人材育成・環境整備のための施策	17
第5章 プランの推進体制	21

第1章 プラン策定の趣旨

1. 目的

近年、情報通信技術の飛躍的な発展や交通網の発達、経済・社会のグローバル化に伴い、人・モノ・情報の動きが地球規模で活発化しています。

日本を訪れる外国人観光客数は、平成 20 年9月のリーマン・ショック後の世界同時不況や、平成 23 年3月の東日本大震災等の影響で、一時的に減少したものの、国の観光立国に向けた施策等が奏功し、ここに来て、増加の傾向が顕著になっています。自治体に目を転じると、外国人の住民が増え、隣人として地域で生活している状況が、一般的になってきています。

そうした中で、本市では、平成 25 年3月に新たな都市像となる「世界の『交流拠点都市金沢』をめざして」を策定するとともに、翌 26 年2月には、都市像を踏まえて今後 10 年間に取り組むべき施策を重点戦略計画としてとりまとめました。

国の内外から人・モノ・情報の集積を図り、交流を通じて新たな価値を創造し、持続的発展を続ける『交流拠点都市金沢』を実現するためには、国際交流をこれまで以上に活性化することが欠かせないことから、今般、そのための総合的な戦略を策定するものです。

2. 実施期間

重点戦略計画に合わせて、平成 34 年度までの8年間の計画とします。

3. プランの位置付け

「世界の『交流拠点都市金沢』をめざして」及び「重点戦略計画」の下位計画として位置付けています。

4. 課題

プランの策定にあたり、国際交流を活性化させるための課題を整理し、以下の4つに集約しました。

(1) 海外における金沢の認知度を向上させること

本市は、16世紀に城下町として形成されて以来、大きな自然災害や戦災に遭うことなく発展してきたため、豊かな自然の中に、歴史的な建造物やまちなみが今に残されています。

また、歴代藩主が学術・文化を大切にしてきたことから、藩政期からの伝統文化や伝統工芸等が受け継がれており、国から「歴史都市」の認定を受けるなど、近年、まちの個性に対する評価が高まっています。

しかし、海外での金沢の認知度は、未だ高いとは言えない状況にあります。

そうした中で、金沢の個性を最大限に生かし、効果的な発信に取り組むことにより、海外における金沢の認知度を向上させることが課題となっています。

(2) 海外からの来訪者が増加するようまちの魅力を高めること

海外からの来訪者をひきつける魅力あふれる都市となるためには、歴史、伝統、文化、学術に立脚したまちづくりを進め、本市の個性を磨き高めていく必要があります。

同時に、その伝統に絶えず革新の営みを加えていくことも忘れてはなりません。

そうした中で、引き続きまちの魅力を高めていくことが課題となっています。

（３）これまでの実績を生かして海外との交流を発展させること

本市は、これまで姉妹都市・友好交流都市との交流や日仏自治体交流会議の参加等を通じ、文化、教育、経済、スポーツなど幅広い分野で交流を積み重ねてきており、多くの都市や関係機関との間でネットワークが培われています。

そうした中で、それらの実績を生かしながら海外との交流を発展させていくことが課題となっています。

金沢市の姉妹都市



（４）外国人住民や外国人観光客が滞在しやすい環境を整えること

本市は、これまで外国人住民向けに、多言語による生活ガイド等の発行や日本語教室の開催、さらには公的サインなどの多言語化等に取り組んできましたが、外国人住民及び外国人観光客は、今後ますます増加していくと考えられます。

そうした中で、外国人住民や外国人観光客がより滞在しやすい環境を整えていくことが課題となっています。

第2章 8年後(プランの最終年次)の理想とする姿

1. 理想とする姿

以下の4つを8年後の理想とする姿とします。

I 都市名が世界の多くの人々に認知されているまち

個性豊かで美しい都市であることが、世界で広く周知されている都市をめざします。

II 伝統と創造が調和した世界の人々が憧れるまち

伝統や文化が保存継承される一方で、新たな文化が育まれるなど、伝統と創造が重なりあい、世界の人々が訪れたい魅力あふれる都市をめざします。

III 世界の人々と盛んな交流が行われ、日々新たな交流が生まれるまち

姉妹都市や友好交流都市をはじめとする世界の都市との間で、幅広い交流が行われるとともに、様々な分野において、日々新たな交流が生まれる都市をめざします。

IV 国際化時代にふさわしい人材にあふれ、外国人が滞在・生活しやすいまち

外国人にとって滞在や生活がしやすい環境が整っており、外国人・日本人を問わず住民の信頼関係が築かれるとともに、外国人観光客や外国人住民にとって満足度の高い都市をめざします。

2. 成果指標

4つの「8年後の理想とする姿」をより具体化するため、次のとおり成果指標を設定します。

項 目		成 果 指 標	現 状 値 ※ (平成 25 年度)	→	目 標 値 (平成 34 年度末)
I	①	金沢の認知度 アジアに住む人にとっての 金沢の認知度	12% (平成 25 年 10 月時点)	→	25%
	②	金沢への訪問意欲 アジアに住む人にとっての 金沢への訪問意欲	3% (平成 25 年 10 月時点)	→	10%
II	③	歴史文化資産の来訪者 市文化施設外国人入館者数 (18 施設)	推計約 200,000 人 (平成 25 年 1～12 月累計)	→	約 400,000 人
	④	歴史文化資産等の魅力 外国人に人気の日本の観光 スポットベスト 30 入り	1 か所 (兼六園) (平成 25 年度)	→	2 か所
III	⑤	姉妹都市との民間交流 交流協定に基づき姉妹都市 の団体等と交流を行って いる市内の団体等の数	14 団体 (平成 25 年 12 月 31 日現在)	→	20 団体
	⑥	外国人留学生 県内の大学等に在籍する 外国人留学生の数	1,534 人 (平成 25 年 5 月 1 日現在)	→	3,000 人
IV	⑦	外国人住民 市内に住民票のある外国人の数	4,394 人 (平成 25 年 12 月 31 日現在)	→	5,800 人
	⑧	外国人来訪者 市内宿泊施設に宿泊した外国人 の数	155,899 人 (平成 25 年 1～12 月累計)	→	330,000 人

※（現状値の出典）

- ① 日本政策投資銀行による「アジア 8 地域・訪日外国人旅行者の意向調査（平成 25 年版）」
- ② 日本政策投資銀行による「アジア 8 地域・訪日外国人旅行者の意向調査（平成 25 年版）」
- ③ 金沢市観光調査から推計
- ④ トリップアドバイザーによる「外国人に人気の観光スポット 2014」
- ⑤ 金沢市国際交流課調べ
- ⑥ 石川県ホームページ「石川県の留学生の推移」
<http://www.pref.ishikawa.lg.jp/kokusai/ryugaku/1.html>, 2015. 2. 13
- ⑦ 金沢市市民課「住民基本台帳」
- ⑧ 金沢市観光交流課「平成 25 年 金沢市観光調査結果報告書」

第3章 プランの基本方針

本プランにおいては、新たに3つの視点を加え、第2章の「8年後の理想とする姿」の実現をめざすため、4つの基本方針を設定しています。

1. 新たな視点

(1) 姉妹都市交流などこれまでのストックを生かした交流の促進

姉妹都市、友好交流都市、日仏自治体交流会議参加都市、ユネスコ創造都市ネットワークなどとの、これまでの活発な交流を生かしながら更なる交流を推進します。

(2) アジア地域を視野に入れた交流の促進

今後、アジア地域との交流が、ますます活発になることが予想されることから、アジア地域を重視した交流の推進に意を用います。

(3) 若い世代の受入や派遣を軸とした交流の促進

自国の文化を理解するとともに、他国の人とコミュニケーションを図ることができる人材が求められるため、国際化時代を担う若い世代を中心に、積極的な交流の促進を図ります。

2. 基本方針

基本方針Ⅰ 認知度の向上をめざした都市の発信力の強化

文化・工芸等の「金沢ブランド」を発信するイベントを開催するとともにメディアや旅行業界と連携した広域観光ルートの開発や、国内外からのMICEの誘致など、多様な方法で効果的に金沢の魅力を発信します。

〈推進のための戦略〉

- (1) 金沢ブランド（伝統文化・伝統工芸・食文化等）の発信強化
- (2) メディアや旅行業界との連携による広域観光ルート等の開発
- (3) MICEの誘致とコンベンション機能の強化

基本方針Ⅱ 歴史文化資産や新たな創造による資産を生かしたまちの魅力の向上

本市の個性ともいえる歴史文化資産を守り育てるとともに、新たな魅力の発掘に取り組むことで、まちの魅力を更に高めます。

〈推進のための戦略〉

- (1) 歴史資産や伝統文化を生かしたまちの魅力づくり
- (2) 新たな魅力の発掘と創造
- (3) 情報提供と交通アクセス等の利便性の向上

基本方針Ⅲ 固有のストックやネットワークを生かした交流の推進

姉妹都市や友好交流都市との交流など、幅広い分野での都市間交流によって得られたノウハウを最大限に生かしながら、交流を一層充実させます。

また、今後、交流の拡大が見込まれるアジアをはじめとする地域との交流の推進を図るとともに、学術研究機関や市民団体等の交流が促進される環境づくりに取り組みます。

＜推進のための戦略＞

- （１）姉妹都市や創造都市などのネットワークを生かした新たな交流の推進
- （２）アジア地域を視野に入れた新たな交流事業の展開
- （３）学術文化を生かした交流の促進

基本方針Ⅳ 国際感覚を持つ人材の育成と外国人居住環境の整備

グローバル化に対応した人材を育成するため、海外からの留学生や研修生との交流の機会を充実させるなど、若い世代の交流に意を用いるとともに、外国人観光客や外国人住民が増える中で、外国人への情報提供の充実や語学習得機会等の提供に努めるほか、留学生に対する支援に努めます。

＜推進のための戦略＞

- （１）若い世代を軸とした受入や派遣の促進
- （２）外国人が滞在や生活がしやすいまちづくり
- （３）国際感覚を持つ人材の育成

第4章 施策の展開

1. 認知度の向上のための施策

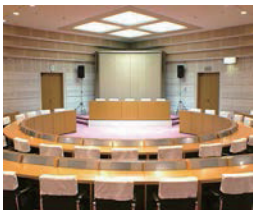
(1) 金沢ブランド（伝統文化・伝統工芸・食文化等）の発信強化

区分	施策名	内容
①	国際交流特使による活動の推進	市の国際交流員や留学生等を「国際交流特使」として養成し、特使は帰国後、世界各地でイベントやフェイスブック等を通じ、魅力発信活動等に取り組みます。
②	大使館との連携による魅力発信	在日大使館の広報官等を本市に招聘し、協力・連携関係を構築することにより、大使館のネットワークを通じて、金沢の魅力を発信します。
③	「世界の金沢」プロモーションムービーの制作	金沢の魅力を凝縮した多言語対応の映像を制作し、国際旅行博、見本市、学会などで上映するほか、ホームページやYouTube等を通じて、世界へ発信します。
④	伝統芸能紹介外国語パンフレットによる発信	金沢の伝統芸能等を紹介する外国人向けのパンフレットを作成し、海外の日本大使館等の拠点施設で発信します。
⑤	料理人の海外での食文化の発信	料理人の海外研修を通じて金沢の食文化の普及・啓発を行うなど、食に関する情報発信を進めます。
⑥	中小企業の海外販路の拡大及び情報発信の支援	中小企業の競争力と発信力の強化をめざし、海外の販路拡大に向けた取り組みを支援します。
⑦	「平成の百工比照」展の開催	創造都市世界会議と連携し、金沢の質の高い工芸の歴史や技法の魅力を世界に発信します。
⑧	現代工芸の海外への発信	金沢 21 世紀美術館が所蔵する工芸作品等をニューヨークで展示し、金沢の工芸の魅力を海外に向けて発信します。

（２）メディアや旅行業界との連携による広域観光ルート等の開発

区分	施策名	内容
①	海外誘客セミナーの開催	観光関係者等を対象に、外国人観光客の誘客に向けたセミナーを開催します。
②	旅行エージェントの招聘等による誘客推進	旅行エージェントの招聘や海外でのキャンペーンを行うとともに新しい観光企画やルートを開発し、誘客の推進につなげます。

（３）M I C Eの誘致とコンベンション機能の強化

区分	施策名	内容
①	コンベンション機能のあり方の検討	国内外からの大規模なイベントに対応するため、集客力が高く国際会議機能を有するコンベンション施設の立地について調査し、可能性を検討します。
②	金沢市文化ホールの改修 	国際コンベンションの開催に向けて、金沢市文化ホールの国際会議機能を強化するためのリニューアルに取り組みます。
③	国際コンベンションにおける同時通訳等の対応力の強化	同時通訳者の配置や同時通訳機器の設置等を支援し、国際会議への対応力を強化します。
④	J C I 世界会議金沢大会の開催支援	世界各国から若手経済人が一堂に会する1万人規模の国際青年会議所（J C I）世界会議を金沢で開催します。

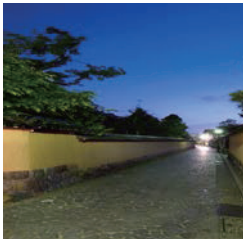
2. まちの魅力向上のための施策

(1) 歴史資産や伝統文化を生かしたまちの魅力づくり

区分	施策名	内容
①	伝統的建造物群の保存整備  ひがし茶屋街	重要伝統的建造物群保存地区の建造物等の保存整備に取り組み、まちの魅力を高めます。
②	金澤町家情報館の整備	外国人に好まれる町家を活用して、金澤町家情報館を整備し、外国人に町家の魅力を紹介します。
③	金澤町家を活用した留学生の宿泊体験	外国人留学生を対象に、古くからの生活様式が息づく、町家での暮らしを体験してもらい、金沢への愛着を深めてもらいます。
④	文化施設を生かしたまちの魅力の向上と外国人の受入環境の向上	文化施設における外国人来館者の利便性の向上をめざし、外国語パンフレット等を作成するなど、受入環境の充実に努めます。

※ 上記のほか、重点戦略計画主要施策「魅力づくり ～伝統と創造で発展するまち～」に記載されている施策を推進します。

(2) 新たな魅力の発掘と創造

区分	施策名	内容
①	金沢らしい品格のある夜間景観の創出とナイトミュージアムの推進  長町武家屋敷の夜間景観	長町景観地区において金沢らしい照明整備に取り組むとともに、文化施設を夜間に開館し、ナイトイベントを開催します。
②	クラフトツーリズムの推進  金箔貼り体験	外国人観光客に様々なクラフト体験をしてもらうための体験メニューの開発と実施に取り組みます。
③	建築文化の発信  鈴木大拙館	世界から高い評価を得ている質の高い金沢の建築文化に触れる観光等のモデルコースを設定します。
④	金沢 21 世紀美術館の魅力向上	美術館に新たなシンボルとなるオブジェ「まる」を設置します。
⑤	里山・森林環境を生かした魅力の創造	恵まれた本市の自然を生かし、里山や森林におけるイベントの開催やグリーンツーリズムの推進に取り組みます。

(3) 情報提供と交通アクセス等の利便性の向上

区分	施策名	内容
①	公衆無線LANの整備  KANAZAWA FREE Wi-Fi	外国人観光客やビジネスでの来街者がインターネットを使って手軽に情報を取得・発信できるよう、サービス提供エリアの拡大を図ります。
②	スマホ対応観光情報の多言語化	スマートフォンに対応できる観光情報の多言語化を進めることにより、外国人観光客の誘客と利便性の向上に努めます。
③	金沢駅東広場交通案内所における「金沢交通コンシェルジュ」の配置	金沢駅の駅東広場交通案内所に「金沢交通コンシェルジュ」を配置し、案内機能を強化するとともにタブレット端末を活用し、多言語での情報提供を行うことにより、外国人観光客の利便性の向上を図ります。

3. 交流促進のための施策

(1) 姉妹都市や創造都市などのネットワークを生かした新たな交流の推進

区分	施策名	内容
①	ユネスコ創造都市ネットワーク世界会議の開催	国内初となるユネスコ創造都市ネットワーク世界会議を本市で開催することにより、金沢を国内外に発信するとともに、参加都市との交流を進めます。
②	日仏自治体交流会議参加都市との交流	日仏自治体交流会議の参加都市とのネットワークをフルに活用した新たな交流に取り組みます。

(2) アジア地域を視野に入れた新たな交流事業の展開

区分	施策名	内容
①	「日台交流サミット in 金沢」の開催	海外からの旅行客の6割を占める台湾との交流を促進するため、日台交流サミット会議の開催を支援します。
②	対アジア・シティプロモーションの強化	東南アジア諸国との交流を促進するため、官民連携によるシティプロモーションの強化を図ります。
③	東アジア文化都市との連携強化	日中韓をはじめ東アジア地域の芸術家が一堂に会し、多彩な文化芸術活動を展開する国際イベントを誘致します。
④	蘇州・全州・大連三市の工業高校との交流の推進	市立工業高校の姉妹校である中国・蘇州市及び韓国・全州市の工業高校に加え、新たに中国・大連市技師学院と姉妹校の締結を行い、交流を深めます。
⑤	蘇州・全州両市の図書館との交流の推進	金沢市図書館が交流を行っている中国・蘇州市図書館に加え、新たに、韓国・全州市図書館とも、図書館交流を進めます。

(3) 学術文化を生かした交流の促進

区分	施策名	内容
①	高等教育機関の集積を生かした学術文化交流	大学等と連携して、海外の学術研究機関と、建築や芸術など、様々な分野での学術文化交流を行います。
②	大学連携協定を生かした合同研究の推進	本市と連携協定を結ぶ大学が合同で「国際交流の推進」をテーマとしたフォーラムを開催し、国際化に向けた活動を促進します。
③	美術工芸大学と清華大学美術学院との交流展の開催	美術工芸大学が、交流協定を結んでいる中国の清華大学美術学院と合同で交流展を開催します。
④	市立病院とナンシー大学病院との医療分野における交流	市立病院が、連携協定を結んでいるフランスの地域圏立ナンシー大学病院との間で、研修医の相互派遣など医療分野の交流を促進します。

4. 人材育成・環境整備のための施策

(1) 若い世代を軸とした受入や派遣の促進

区分	施策名	内容
①	青少年の相互派遣・受入の拡充	青少年に対して国際理解を深めるための場の提供や、海外への派遣・受入を積極的行います。
②	五輪キャンプ地の誘致によるアスリートとの交流	東京オリンピックのキャンプ地の誘致に合わせ、スポーツ関連イベントを開催し、世界トップレベルの選手と地元スポーツ選手の交流を図ります。

(2) 外国人が滞在や生活がしやすいまちづくり

区分	施策名	内容
①	外国人住民向け窓口サービスの充実	市役所の窓口において電話での通訳サービスを導入し、多言語対応を充実させます。
②	I C Tの活用による多言語での情報提供	外国人観光客や外国人住民に対して、多様な通信手段を活用し、必要な情報を多言語で効果的に提供します。
③	外国人に対応した救急搬送体制の充実	日本語が話せない外国人傷病者に対し、迅速適切な救命処置を講じるため、傷病者の訴えを正確に把握できるよう翻訳タブレットを導入します。
④	公的サインのピクトグラムの活用 検討  ピクトグラムの一例（広域避難所）	外国人にとってわかりやすい公的サインの文字表記のあり方にあわせ、ピクトグラム（絵文字）の活用を検討します。

区分	施策名	内容
⑤	多言語金沢ライフマニュアルの作成	外国人住民が快適な日常生活を送ることができるよう、外国人の視点からの日常生活に役立つ情報を掲載した多言語ガイドブックを作成します。
⑥	金沢ベストライフガイドの作成	金沢での暮らしを十倍楽しむための情報を掲載したガイドブックを9か国語で作成します。
⑦	外国人のための人権啓発講座の開催	外国人住民と市民が、ともに安心して暮らすことができる環境をつくるため、人権啓発講座の開催や、「生活困りごと相談会」等の実施に取り組みます。
⑧	留学生向け就職情報の提供	金沢に就職を希望する留学生を対象に合同企業説明会を開催するほか、就職後の離職を防ぐための、日本語研修などを行います。
⑨	市民と外国人のふれあいイベントの開催	市民が積極的に参加し、外国人住民との交流を深めるためのイベントを開催します。
⑩	金沢港へのクルーズ船の誘致と市民ぐるみの歓迎	金沢港に寄港するクルーズ船等の誘致を進めるとともに、外国人乗船客を市民ぐるみで歓迎し、もてなしの心を伝えていきます。
⑪	ホームステイのための受入れ家庭の拡充	外国人のホームステイやホームビジットなどを受入れてくれるホストファミリーを増やすため、経験談を話してもらう講座を開催するなどの活動を展開します。

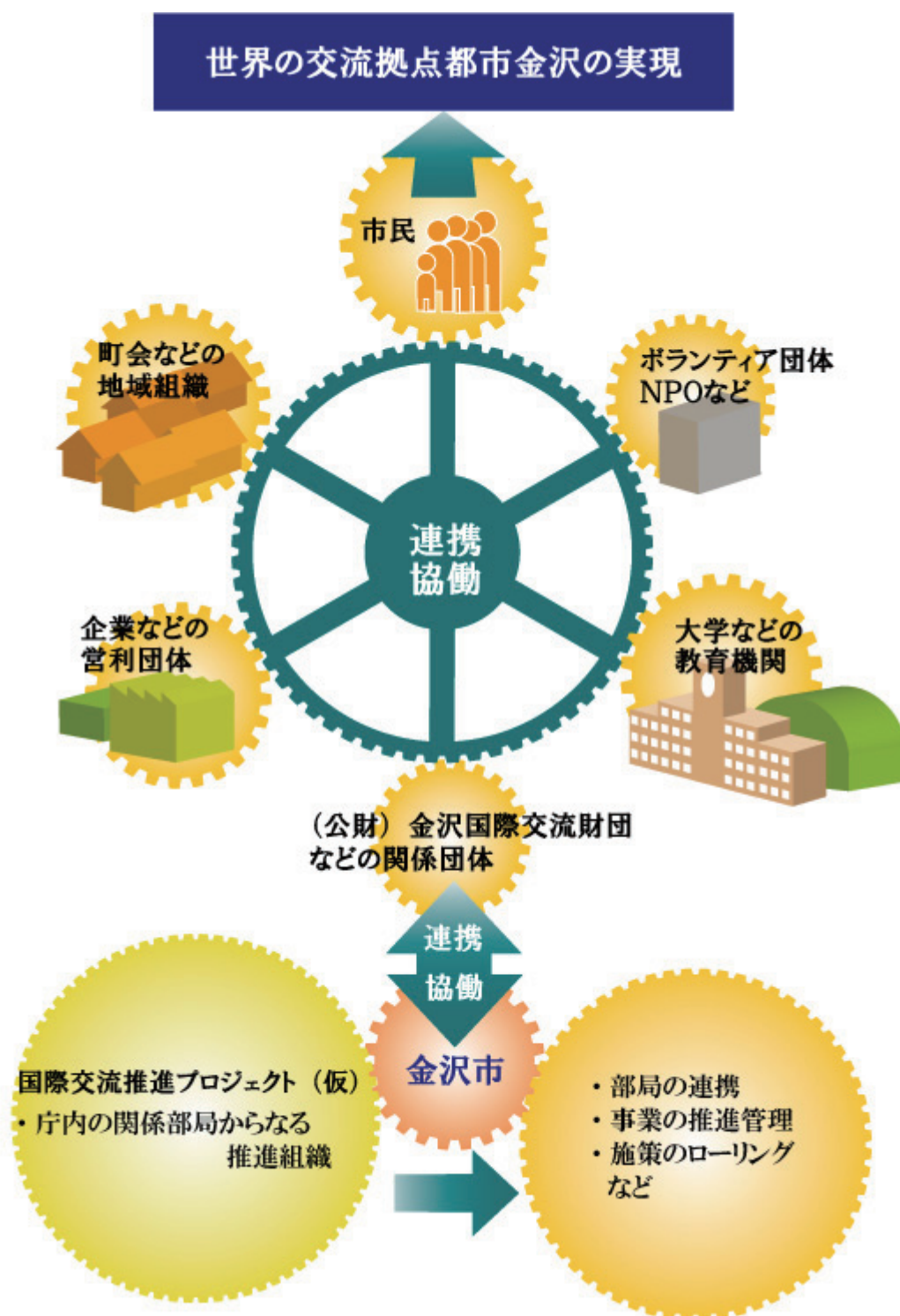
⑫	外国人向けルームシェアの推進	外国人が気軽に、安価に滞在できる宿泊施設等のあり方とその確保等について検討を進めます。
⑬	外国人の商店街への誘客促進	外国人観光客への対応の充実を図るための商店街の活動を支援します。
⑭	観光関連事業者の外国語対応等の促進	宿泊施設等における外国語表記やインターネット予約システムの導入を支援します。
⑮	日本食をアピールする活動の推進	外国人が気軽に和食を楽しむことができるよう、メニューの写真表記や会話マニュアルづくりなどを進めます。

(3) 国際感覚を持つ人材の育成

区分	施策名	内容
①	グローバル人材の育成	青少年の派遣や海外からの招聘による相互交流研修を実施し、グローバル人材を育成します。
②	グローバル・リーダー養成講座の開催	国際理解や国際貢献の実践につながる体験型の講座等を開催し、グローバル・リーダーを育てます。
③	金沢ユネスコスクール事業の推進	小・中学校で国際理解教育や環境教育などに取り組むユネスコスクール事業を推進し、国際的視野をもつ人材の育成につなげます。
④	金沢国際交流財団の機能強化	市民レベルの交流を促進するため、財団における多文化共生事業を拡充するとともに、ボランティアの国際交流事業への参画を促すスーパーバイザーを配置します。

第5章 プランの推進体制

国際交流を活発化させ、外国人が滞在しやすい環境を築くため、市民、企業、教育機関、NPO 等との連携・協働を進めるとともに、市内に国際交流推進プロジェクトを設置し、国際交流戦略プランの着実な推進に努めます。



金沢市国際交流戦略プラン策定委員会委員

	分野	氏名	所属・役職
座長	大学	やまざき こうえつ 山崎 光悦	金沢大学学長 ・(公財)金沢国際交流財団理事長
委員	大学	しゅう こう 周 航	北陸大学専務理事
委員	経済団体	く せ やすし 久世 靖	金沢商工会議所国際委員長
委員	旅行業界	いさらい ひろき 小井 浩樹	(一社)日本旅行業協会中部支部 石川地区委員会委員長
委員	在住外国人	セシル・アンドリュ	金沢美術工芸大学非常勤講師
委員	国際観光ボランティア	あんりゅう としみつ 安立 利光	金沢グッドウィルガイドネットワーク代表 ・(公財)金沢国際交流財団理事
委員	行 政	まるぐち くにお 丸口 邦雄	金沢市副市長

金沢市国際交流戦略プラン

発 行 平成27年3月

発行者 金沢市市長公室国際交流課

〒920-8577 金沢市広坂1丁目1番1号

TEL 076-220-2075 FAX 076-220-2069

金沢市ホームページ <http://www4.city.kanazawa.lg.jp/soshiki/sityou/10020.html>

